

よわあい広場

324号



国家公務員共済組合連合会

平塚共済病院

〒254-8502 平塚市追分 9-11

TEL 0463 (32) 1950

<https://hrt.kkr.or.jp/>

令和7年1月15日 発行

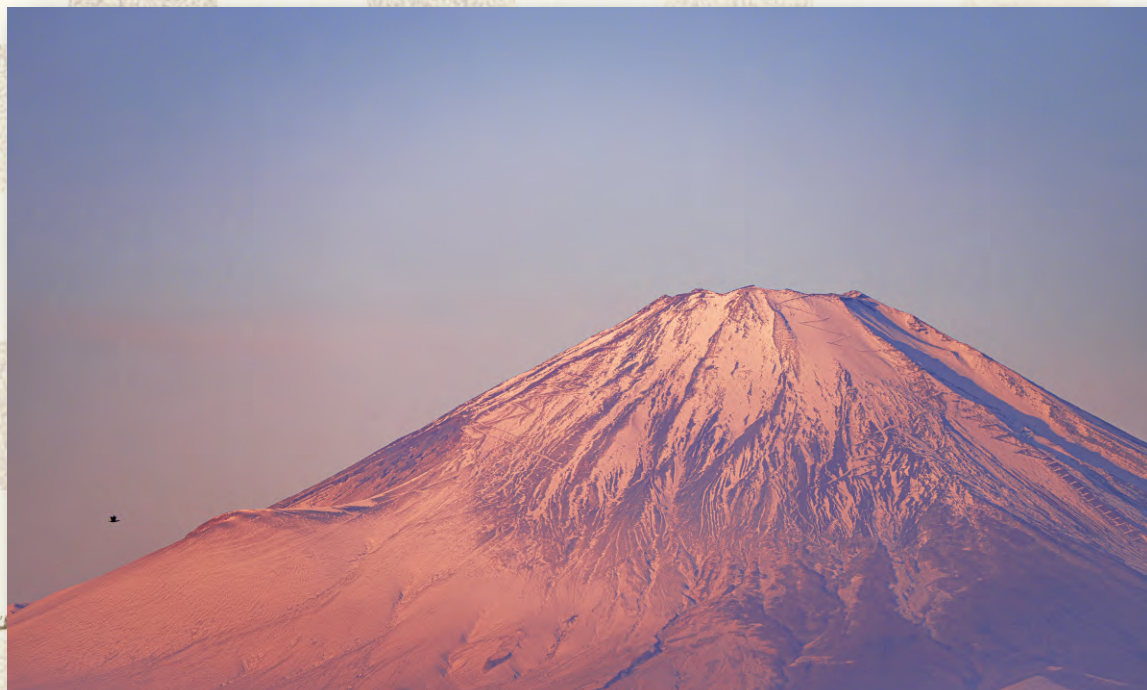


Photo by S.H



■ 基本理念

患者が安心でき、地域から信頼される病院を目指します

■ 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します
- ・患者の視点を大切に、多様な立場の方にも配慮します
- ・プライバシーを尊重し、医療情報を適切に扱います
- ・地域医療支援病院としての役割を果たします
- ・健全な経営を維持し、必要な医療設備を整えます
- ・職員が働きやすく、活力ある病院を目指します

■ 患者権利・患者責務

患者と医療提供者が信頼関係に基づき協働して医療を実践するために、患者権利と患者責務を以下に示します。

<患者権利>

I 基本的権利

患者の意思が尊重され、主体的に医療に参加できる権利

II 医療における権利

- ・検査や治療を選ぶ権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・医療の内容を知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利

<患者責務>

- ・自身の健康に関する出来るだけ正確な情報提供
- ・医療に関する主体的な希望の伝達
- ・説明に対して十分納得した上での医療への参加
- ・病院規則の理解および協力
- ・暴言や暴力行為の禁止
- ・受けた医療に対する医療費の速やかな支払い

2025年新年に当たりご挨拶申し上げます

平塚共済病院 副院長 神 靖人

新年のご挨拶を申し上げます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今冬は昨年暮れから寒気が押し寄せ、例年より早くインフルエンザの流行が始まっており連日患者が増加しております。また COVID-19 に関する報道が以前より少なくなっているせいも、一般の方では外出時にマスクを着用しない方も多いのですが、相変わらず患者は多く入院患者数も減っていません。いずれの感染症も健康な方でも発症すると症状は辛いので、十分な感染予防対策を行なっていただくことが望まれます。

2025年の当院の医療環境ですが、医療に対する色々な要望は多い中で、限られた医療従事者で医療を提供するためにはさらに効率化が必須です。医療 DX としてはマイナ保険証によるオンライン資格確認が始まり、電子処方箋も発行が可能な体制の整備を進めています。電子処方箋のシステムは複数の医療機関と薬局で処方薬の情報を共有するだけでなく、COVID-19 などによるパンデミックが再度広まった時には非常に効率的に薬を届ける仕組みになるのでぜひ利用を進めていただきたいと思います。また電子カルテシステムは膨大な医療情報を管理する上で必須で、現代の病院ではこれがないと医療を行えないほど重要なものになっています。サイバー攻撃の標的になりやすく対策に非常に労力・金銭的成本が必要ですが、安全で効率的な医療体制を構築するために、さらにモバイル端末などの活用を進めていく予定です。当院として新たに提供できる医療体制としては、今年は緩和医療を行う体制の整備を進め、当院にも緩和病棟を開設する予定です。今までは緩和医療が必要な患者を、訪問医療を行っていたクリニックや平塚市外の緩和病棟がある医療機関へ紹介していましたが、緩和医療のために入院が必要な患者を当院で診療することができるようになります。入院診療といっても急性期医療と違い、医療機器に囲まれた入院生活ではなく、なるべく自宅での療養生活に近いような環境を整備する予定です。また周辺医療機関と協力して医療体制を作る方針ですので、訪問診療を受けていて症状が不安定になり入院となった場合も、症状が安定した場合は再度訪問診療を受け在宅医療を継続していただくこともできます。

以上のように今年も皆様のニーズに対応できるように体制づくりを進めていく所存です。最後になりますが、皆様のご健康を祈念し念頭のご挨拶とさせていただきます。

クスリ あれこれ



緩下剤「酸化マグネシウム」について

緩下剤「酸化マグネシウム」は、医療現場でも、OTC医薬品でもよく見かける緩下剤です。基本的には、効果もあり、習慣性、副作用も少ない良いお薬です。

少しお薬の説明をすると「酸化マグネシウム」は、浸透圧性下剤の塩類下剤に属します。浸透圧性下剤は浸透圧の違いを利用し、腸内で水分分泌を引き起こし便を柔らかくします。また腸管内容量を増加させて腸の動きを促進し、排便回数を増加させます。診療ガイドラインでは「推奨の強さ1（強い推奨）、エビデンスレベルA（質の高い検証結果）」として評価され、特に塩類下剤は広く使用されています。

注意することは？

比較的安全なお薬ではありますが注意しなければならないこともあります。

腸壁から水分を引き出すため、脱水を起こすリスクを考慮し、コップ1杯以上の多めの水で服用しましょう。水分摂取の制限がある方は、医師に確認してください。

またあまり頻繁にある事ではありませんが、**特に高齢者や腎臓の機能が低下している人では、高マグネシウム血症に注意が必要です。**

嘔気やだるさ、立ちくらみ、めまい、脈が遅くなる、眠気でぼんやりするなど高マグネシウム血症の初期症状に注意しましょう。

放っておくと重い症状になることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。早めに発見し適切な処置をおこなえば大事に至ることはほとんどありません。

そして一部の抗生物質など、お薬によっては一緒に服用すると効果が落ちてしまうものや副作用が出やすくなるものもありますので、他にお薬を飲んでいる場合は、薬剤師に確認しましょう。

酸化マグネシウム製剤 医療用商品名一覧

酸化マグネシウム錠・細粒
重カマ
重質酸化マグネシウム
マグミット錠・細粒

第7回慢性腎臓病 (CKD) 教室

令和7年3月14日(金) 14時～15時30分

臨床研修棟6階大会議室 13時30分入場開始

定員

先着20名



テーマ あなたの腎臓は大丈夫？

- 腎臓を守るために
医師 西田 秀範
- 腎臓を守る食事について
管理栄養士 大谷 純子
- 腎臓を守る生活について
看護師 實方 由美子・山川 篤子



対象

タイトルに興味関心がある方 または、慢性腎臓病の方やそのご家族



申込・お問い合わせ

受付時間：平日 9:00～17:00

電話：0463-32-1950 (事務局)

※ 土日・祝日の受付はお休み

※ 参加費・駐車場料金は無料



お願い

- マスクの着用にご協力ください
- 発熱や体調不良の方の参加はご遠慮ください

